

FlashQ X20

Camera Flash

for FUJIFILM

FlashQをお買い求めいただきありがとうございます。
FlashQシステムで快適な写真撮影をお楽しみください。

FlashQ
Wireless Flash System

CE FC  217-210215

Copyright © 2021 LightPix Labs. All Rights Reserved.
内容は予告なく変更されることがあります。

2022-03 Prints

特長

- ・ガイドナンバー20 (ISO100, 32mm) の外付け小型フラッシュ
- ・富士フィルム TTL 調光との互換性
- ・先幕および後幕のカーテンシンクロ
- ・フラッシュ露出補正 (FEC)
- ・カメラに装着せず常時使用できるワイヤレスTTL機能、取り外し可能なトランスミッター
- ・リモート調整できるフラッシュ光量比／動画ライト光量／フラッシュ露出補正 (FEC)
- ・チルト可能なヘッド部分
- ・内蔵カラージェルホルダー
- ・光量と色温度の調整が可能なLED動画ライト
- ・充電可能なリチウムイオン電池内蔵のFlashQトランスミッター
- ・X20ボディ (別売りのニッケル水素充電電池を使用の場合) およびFlashQトランスミッターを同時にUSB充電

バッテリーの残量が少ないとき

FlashQトランスミッター:電源をONにした状態で、電源ボタンを1度押し、充電インジケータが赤色に点滅する場合は、残量が少なく、充電が必要です。

X20本体:液晶画面に低バッテリーのアイコンが表示され、フラッシュまたは動画ライトが一時的に使用できなくなります。充電または電池の交換が必要です。

FlashQトランスミッターの充電

- ・FlashQトランスミッター (内蔵リチウムイオン電池) を充電するには、付属のUSB充電ケーブルで、パソコンまたはUSB電源アダプターにつなぎます。
- ・充電中は充電インジケータが赤色に点灯し、充電が完了すると消えます。
- ・トランスミッターのフル充電に要する時間はおよそ1時間半です。

注意

付属のUSB充電ケーブルは、FlashQ X20本体、トランスミッター、レシーバーの充電にだけお使いください。必要な総電力 (2方向マイクロUSB出力) は、5V、800mAです。

FlashQ X20本体の充電

繰り返し利用が可能で手軽にUSB充電できるニッケル水素充電電池の利用をお勧めします。

- ・FlashQ X20 (別売りのニッケル水素充電電池を使用) を充電するには、付属のUSB充電ケーブルで、パソコンまたはUSB電源アダプターにつなぎます。
- ・充電中は充電インジケータが橙色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。
- ・FlashQ X20本体で2500mAhのニッケル水素充電電池2本を充電した場合、フル充電に要する時間は約4時間半です。

警告

- ・FlashQ X20には通常の単3型アルカリ電池を使用可能ですが、アルカリ電池のUSB充電は絶対にしないでください。
- ・電池の不正な扱いは、液漏れや破裂につながります。
- ・電池の+-の極性は必ず守ってください。
- ・FlashQ X20を長期間で使用されない場合は、電池を外して保管ください。

互換性

FlashQ X20 for FUJIFILMは以下の富士フィルム製カメラでお使いいただけます。

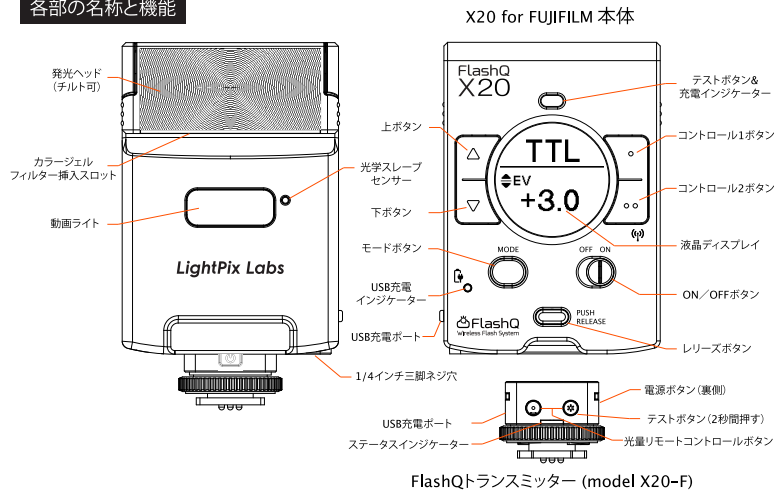
・X-T4, X-T3, X-T2, X-T1, X-T30, X-T20, X-T10, X-H1, X-S10

・X-Pro3, X-Pro2, X-Pro1, X-E4, X-E3, X-E2, X-E1, X-M1, X100シリーズ

・X-A7, X-A5, X-A3, X-A2, X-A1, X-70, X-30, X-20, X-10

互換性に関する最新情報は、当社ウェブサイトをご覧ください。






各部の名称と機能



同梱品

- ・1 x FlashQ X20 本体 (電池は同梱されていません)
- ・1 x FlashQ トランスミッター (model X20-F: リチウムイオン電池内蔵)
- ・1 x カラージェルフィルターパック (6色)
- ・1 x USB充電ケーブル (マイクロUSB 2出力)
- ・1 x 保護ポーチ
- ・1 x ユーザーマニュアル

警告と注意

-  フォトフラッシュ (キセノンフラッシュチューブ) が強度の光を発します。肉眼で直接見ないでください。
-  フラッシュチューブ窓部とビデオライト窓部周辺が熱くなります。ご注意ください。
-  雨や水で濡らさないようにしてください。
-  本製品には細かな部品が使われています。幼児の手の届く場所に置かず、幼児が飲み込んだりしないようご注意ください。
-  分解しないでください。高電圧回路に触れて電気ショックが起きることがあります。



保証

お買い上げの日より12ヶ月保証

サポートやご質問は弊社に直接お問い合わせください。

Email: info@lightpixlabs.com

お問い合わせフォーム: <https://lightpixlabs.com/contact>

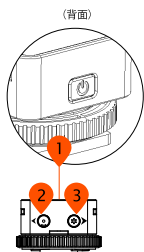
FlashQトランスミッター(model X20-F)を使う

- FlashQトランスミッターは電源ボタン を各2秒間押しして電源ON / OFFをします。電源ONのときは下記のような点滅の仕方を行います。

ONのとき、FlashQトランスミッターは4秒おきに「緑色」に点灯します。富士フィルム製のカメラに取り付けられ、認識すると、4秒おきに「橙色」に点灯します。
- FlashQトランスミッターでは ボタンいずれかを押ししてX20のフラッシュ、動画ライト、フラッシュ露出補正 (FEC) の光量をリモートで調節できます。
- FlashQトランスミッターの動作確認をするには、テストボタン を2秒間押ししてください (リモートでX20を発光させます)。

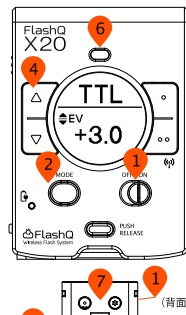
注意

FlashQトランスミッターは、30分間使用されないと自動的に電源が切れます。自動電源オフ機能を無効にするには、電源を入れるときに、電源ボタン を5秒間押し続けます。



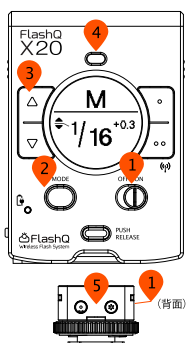
ワイヤレスTTLモード

- FlashQ X20とトランスミッターの電源を入れます。
- 「TTL」と表示されるまで、モードボタンを何度か押します。
- FlashQトランスミッターを富士フィルム製カメラのシューに取り付けます。カメラがフラッシュを認識して外部フラッシュを機能させます (カメラの取扱説明書を参照)。
- 上下ボタンを好みの回数押し、フラッシュ露出補正 (FEC) を調整します。
- カメラのシャッターを押し、写真を撮ります。
- 動作確認をするには、テストボタンを押します (押す前にボタンが緑色に点灯していることをご確認ください)。
- FlashQトランスミッターの どちらかを押し、フラッシュ露出補正 (FEC) をリモートで調整します。FlashQトランスミッターを使うと、リモートでX20を発光させることができます。



マニュアルモード

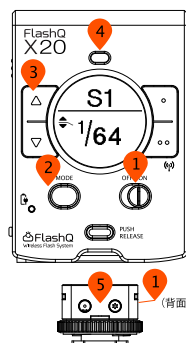
- FlashQ X20とトランスミッターの電源を入れます。
- 「M」と表示されるまで、モードボタンを何度か押します。
- 上下ボタンを好みの回数押し、光量比を調整します。
- 動作確認をするには、テストボタンを押します (押す前にボタンが緑色に点灯していることをご確認ください)。
- FlashQトランスミッターでは どちらかを押し、フラッシュ光量をリモートで調整します。FlashQトランスミッターを使うと、リモートでX20を発光させることができます。



S1モード

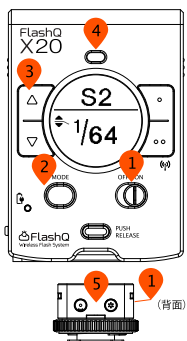
- FlashQ X20とトランスミッターの電源を入れます。
- 「S1」と表示されるまで、モードボタンを何度か押します。
- 上下ボタンを好みの回数押し、光量比を調整します。
- 動作確認をするには、テストボタンを押します (押す前にボタンが緑色に点灯していることをご確認ください)。
- FlashQトランスミッターでは どちらかを押し、フラッシュ光量をリモートで調整します。このモードでは、FlashQトランスミッターを使ってリモートでX20を発光させることはできません。

S1モードでFlashQ X20は、伝統的な1灯フラッシュ (フィルムカメラによく見られるタイプ) にシンクロします。FlashQ X20は最初の1灯にだけシンクロします。



S2モード

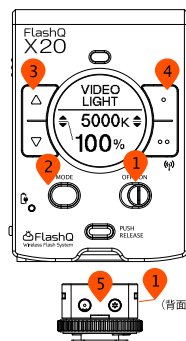
- FlashQ X20とトランスミッターの電源を入れます。
- 「S2」と表示されるまで、モードボタンを何度か押します。
- 上下ボタンを好みの回数押し、光量比を調整します。
- 動作確認をするには、テストボタンを押します (押す前にボタンが緑色に点灯していることをご確認ください)。
- FlashQトランスミッターでは どちらかを押し、フラッシュ光量をリモートで調整します。このモードでは、FlashQトランスミッターを使ってリモートでX20を発光させることはできません。



S2モードでFlashQ X20は、デジタル/TTLフラッシュにシンクロします。マスターフラッシュは、予備発光 (TTL調光または赤目軽減のため) をさせたあと、本発光します。FlashQ X20 (S2モード) は、予備発光には反応せず、本発光だけにシンクロします。

動画ライトモード

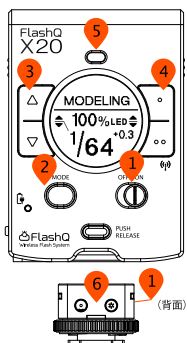
- FlashQ X20とトランスミッターの電源を入れます。
- 「VIDEO LIGHT」と表示されるまで、モードボタンを何度か押します。
- 上下ボタンを好みの回数押し、動画ライトの光量を調整します。
- コントロールボタンを好みの回数押し、動画ライトの色温度を調整します。
- FlashQトランスミッターでは どちらかを押し、動画ライトの光量をリモートで調整します。



モデリングモード

(モデリング目的での使用には、動画ライトを常時オンにできます。発光時はフラッシュと動画ライトの両方がオンになります。)

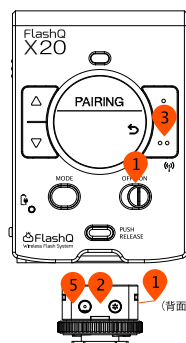
- FlashQ X20とトランスミッターの電源を入れます。
- 「MODELING」と表示されるまで、モードボタンを何度か押します。
- 上下ボタンを好みの回数押し、光量比を調整します。
- コントロールボタンを好みの回数押し、モデリングライトの色温度を調整します。
- 動作確認をするには、テストボタンを押します (押す前にボタンが緑色に点灯していることをご確認ください)。
- FlashQトランスミッターでは どちらかを押し、フラッシュ光量をリモートで調整します。FlashQトランスミッターを使うと、リモートでX20を発光させることができます。



FlashQ X20とトランスミッターのペアリング

(適切なTTL機能のために、FlashQ X20では1対1のペアリングのみサポートしています。)

- FlashQ X20とトランスミッターの電源を入れます。
- FlashQトランスミッターのボタン 両方を3秒間押しすとペアリングモードになります (LEDが青色に点滅)。
- X20本体の ボタンを3秒間押しすと、ペアリングモードになります。
- システムがペアリングモードになり、自動的に新しい未使用チャンネルを選びます。
- ペアリングに成功すると、X20本体はペアリングモードを自動的にやめ、通常操作モードに戻ります。FlashQトランスミッターの のどちらかを押しすとペアリングが完了です。



フラッシュ距離範囲

ガイドナンバー20
ISO 100

(単位:メートル)

絞り値 (F)	フラッシュ光量比 (M: マニュアルモード)							
	1/1	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32	1/64	
2.8	7.1	5	3.5	2.5	1.8	1.25	0.9	
4	5	3.5	2.5	1.8	1.25	0.9	0.6	
5.6	3.5	2.5	1.8	1.25	0.9	0.6	0.45	
8	2.5	1.8	1.25	0.9	0.6	0.45	0.3	
11	1.8	1.25	0.9	0.6	0.45	0.3	0.22	
16	1.25	0.9	0.6	0.45	0.3	0.22	0.15	

製品詳細

- ガイドナンバー20 (ISO100)
- 焦点距離32mm (35mmフォーamat) の範囲をカバー
- マニュアル制御可能な光量比 1/1~1/64 (1/1~1/16の範囲では1/3EV単位で調整可)
- LED動画ライト (明るさと色温度両方の調整が可能。1メートルで最大60ルクスの出力)
- 2.4GHz低電力デジタル無線による範囲10メートルのワイヤレス制御
- フラッシュヘッド部は最高90度のチルト可能。0°, 45°, 60°, 75°, 90° のステップ
- その他の機能: S1/S2光学スレーブ、モデリングライト (LED)
- トランスミッターは1回の充電で30時間のオペレーションと120日のスタンバイ
- 本体には単3形アルカリ電池またはニッケル水素充電電池を2本使用
- 再充電の時間 (1/1のフル出力時) はニッケル水素充電電池で5秒、アルカリ電池で6秒
- 発光回数: 100~2000回
- LEDライト使用可能時間: 約1時間 (最大光量、ニッケル水素充電電池の場合)
- フラッシュ色温度: 5600K±200K (晴天相当)
- LED色温度: 3000~5500K (±300K) の範囲で調整可能、CRI 90
- 外形寸法: 59 (幅) x 102 (高) x 30 (厚) mm (FlashQトランスミッターを含む)
- 重量: 120g (電池を除く)